

製品名: CCL18 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08136

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

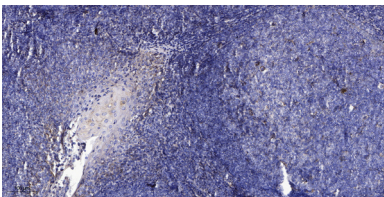
遺伝子名	CCL18
別名	C-C motif chemokine 18 (Alternative macrophage activation-associated CC chemokine 1;AMAC-1;CC chemokine PARC;Dendritic cell chemokine 1;DC-CK1;Macrophage inflammatory protein 4;MIP-4;Pulmonary and activation-regulated chemokine;Small-inducible cytokine A18) [Cleaved into: CCL18(1-68); CCL18(3-69); CCL18(4-69)]
遺伝子 ID	6362.0
SwissProt ID	P55774
免疫原	ヒト CCL18 由来の合成ペプチド AA 範囲: 1-80

背景

この抗菌遺伝子は、17番染色体のq腕に密集している複数のCys-Cys (CC) サイトカイン遺伝子の1つです。サイトカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質のファミリーです。CCサイトカインは、2つの隣接するシステインを特徴とするタンパク質です。この遺伝子によってコードされるサイトカインは、ナイーブT細胞、CD4+およびCD8+ T細胞、非活性化リンパ球に対して走化性活性を示しますが、単球または顆粒球に対しては活性を示しません。このケモカインは、リンパ節においてナイーブTリンパ球を樹状細胞および活性化マクロファージに引き寄せます。これは、体液性免疫応答と細胞性免疫応答の両方において役割を果たしている可能性があります。[RefSeq 提供、2014年9月]、機能: リンパ球を引き寄せるが単球や顆粒球を引き寄せない走化性因子。リンパ節におけるB細胞濾胞へのB細胞の移動に関与している可能性があります。ナイーブTリンパ球をリンパ節の樹状細胞および活性化マクロファージに引き寄せ、ナイーブT細胞、CD4+およびCD8+ T細胞に対して走化性活性を有するため、体液性免疫応答と細胞性免疫応答の両方において役割を果たす可能性がある。誘導: マクロファージにおいてIL-4、IL-13、およびIL-10によって特異的に誘導される。IFN- γ によって発現が阻害されるが、グルココルチコイドはIL-4との併用でわずかに相乗効果を発揮する。単球性U937細胞を含むいくつかのヒト細胞株において、ホルポールミスチン酸酢酸 (PMA) によって強く誘導される。ブドウ球菌エンテロトキシンSEAおよびSEBによってPBMC (末梢血単核細胞) に誘導される。質量分析: PubMed:11745396, オンライン情報: CCL18 エントリ, 類似性: インタークリン β (ケモカインCC) ファミリーに属する。組織特異性: 肺、リンパ節、胎盤、骨髄、二次リンパ器官の胚中心およびT細胞領域に存在する樹状細胞、および末梢血単球由来のマクロファージで高発現する。末梢血単球には発現せず、発現には単球からマクロファージへの分化が必要である。関節リウマチおよび化膿性関節炎患者の滑液、ならびに卵巣癌の腹水に発現する。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°Cで一晩)。2、抗原賦活化にはTris-EDTA、pH9.0を使用した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、30分)。